

教育支援プログラム「南極クラス」

ミサワホーム株式会社

プログラム概要

「本物」、「体験」を授業の根底に置き、通常の授業ではなかなか触れることのできない内容を中心に、さらには、理科や社会の単一教科分野のみならず、隊員たちの仕事内容や職業観など、総合教育、キャリア教育として幅広く伝えていきます。

南極クラスは、「グッドデザイン賞」・「キッズデザイン賞」の両賞を受賞しています。

※グッドデザイン賞／公益財団法人日本デザイン振興会が主催している総合的なデザイン評価・推奨の運動。
※キッズデザイン賞／特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催している顕彰制度。

対象者	幼児(就学前)、小学生、中学生、高校生、特別支援学校の児童・生徒	実施可能エリア	全国
テーマ	環境教育、職業教育	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	南極氷の東京からの着払い送料	主な開催場所	学校、社会教育施設、その他：映像が映せればどこでも(要南極氷が解けない設備)
所要時間	90分(授業時間で2時限) ※60分～120分でアレンジ可能	対応条件	特に制限なし 準備物等について要相談



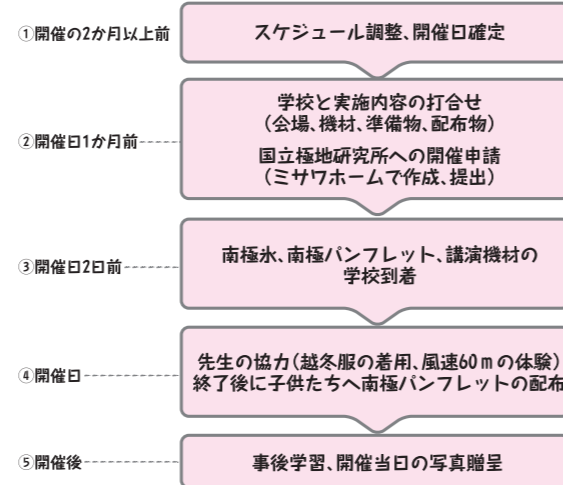
活動概要

【活動のきっかけ】

東日本大震災、特に津波被災地域では、甚大な被害を被り、その惨状は想像を絶するものでした。その惨状を、故郷を、これから何年も何十年もかけて復興していく中心となるのは、被災したその子供たちです。その子供たちに、なんとか夢や希望を持ってもらいたい、未来に向かって元気良く歩んでもらいたいとの願いから、「南極クラス」はスタートしました。長年にわたり南極昭和基地建物建設の支援を行っているミサワホームが、自社の観測隊員経験者を講師として、国立極地研究所※の協力を得て、全国にある学校、教育関連団体等と連携し立ち上げました。

※南極地域観測の中核の実施機関であり、極域科学を積極的に推進しています。さらに、日本が南極観測で取り組んでいることを次の世代に伝えたいと、教育の現場との連携も進めています。

【実施までの流れ】



活動の特長・工夫

①開催校の負担を軽減

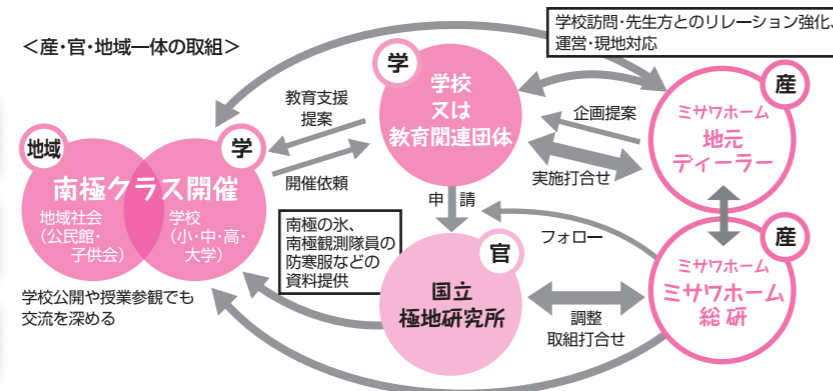
開催費用の削減、事前の打合せ後の申請手続き等は全て当社が対応。開催当日も特別な設備は必要ありません。
※南極氷の東京からの着払送料はご負担いただけます。

②授業に取り入れやすいプログラム

授業時間(2時限)に合わせたプログラムを基本としています。

【実施体制】

- 主催者**
学校、教育関連団体等
学校等への働きかけと調整
- 協力**
国立極地研究所
南極氷、資料、南極観測隊防寒着の提供
- 協賛**
ミサワホームグループ
運営全般・事務局、講師派遣、現地対応



プログラム内容

【ねらい】

- 授業で伝えたいことは、ミッションを成し遂げるための仲間への思いやり、チームワークの大切さに気付く。
 - 厳しくも美しい自然が織りなす驚きと感動を味わう。
 - 人間活動の影響をほとんど受けていない南極からの「地球の過去そして未来」について知る。
- 授業で使用するもの：南極昭和基地で実際に使用した越冬服・風速60mの出るプロアー・簡易風速計・2万年前の南極氷・隊員が撮影した写真、動画(実験、オーロラ、動物等々)。

【進行概要(時間・内容)】 45分×2時限

STEP1 (15分)	日本の南極観測について(映像+体験) ※先生に越冬服を着ていただき、登場いただきます。	映像視聴	体験
STEP2 (15分)	南極の自然環境(映像+体験) ※先生に簡易プロアーで風速60mの体験をしていただきます。	映像視聴	体験
STEP3 (15分)	隊員の仕事・生活…仕事内容と仲間同士支えあい、協力することの大切さをお話しします。 【休み時間】5分～20分 ※授業時間に合わせています。	映像視聴	体験
STEP4 (15分)	南極の氷(映像+体験) ※2万年前の南極氷に触り大気が弾ける音を聞く。	映像視聴	体験
STEP5 (10分)	南極の動物たち…ペンギン、アザラシなどの動物園では見られない生態を紹介します。	映像視聴	体験
STEP6 (10分)	南極のオーロラ、星空…オーロラはどのようなものか、色、形の変化を紹介します。	映像視聴	体験
STEP7 (5分)	子供たちにむけてのメッセージ…南極での体験を通して感じたことで、子供たちに伝えたい事をお話しします。	映像視聴	体験
STEP8 (5分)	質疑応答…子供たちからの質問にお答えします。	映像視聴	体験

※実施講師により授業進行順や時間配分は異なります。打合せにて相談させていただきます。



児童・生徒の声

とても楽しかったです。将来のことや夢について、これから考えてみようと思いました。

保護者の声

大人が聞いても楽しい授業でした。南極の事で、家庭で子供と話が弾みます。

教員の声

どうしても学校に来れなかった子が、南極クラスを聞いてみたいとお母さんと一緒に来てくれました。

本プログラムのポイント

- 自然に対して興味・関心を高める。
- チームワークの重要性と相手への思いやりの大切さを知る。
- 南極隊員の仕事を通じ将来の職業観を育む。

今後の展望

- 来年度以降も同様に継続します。南極帰りの社員は南極先生としてデビューします。
- 幼稚園等での開催
平成28年度から幼稚園等での開催を試行し、プログラムが確定しました。来年度から本格的に取り組み予定です。
- 生涯学習への対応
学校以外でもシニア大学や地域社会での開催も行います。
- 院内学級、患者の会等への対応
南極クラスのiPadアプリ、南極ウォークビューの提供、南極クラスの個別開催に取り組みます。

企業・団体連絡先:

ミサワホーム株式会社 法人営業部 法人推進課
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル16階
TEL: 03-3349-8044 e-mail: Kei_Tezuka@home.misawa.co.jp